



# Kendai Magazine

福岡県立大学 報誌

Fukuoka Prefectural University

## Contents

卒業証書・学位記授与式	P2
成績優秀者コメント	P3
秋興祭	P4
特集 学生インタビュー	P5
TOPICS	P6~7
教員研究紹介	P8
サークル紹介	P9
就職活動奮闘記	P10
退職教員のご紹介	P11





# Graduation Ceremony

福岡県立大学 卒業証書・学位記授与式

at

Fukuoka Prefectural University

令和5年3月16日(木)、学部卒業生245名、大学院修了生17名、併せて262名の卒業証書・学位記授与式が行われました。今年が4年ぶりに卒業生・修了生が全員、講堂に集まる式典となりました。保護者の皆様もリモート中継ではありますが、本学に訪れお子様の卒業を見守られていました。

柴田洋三郎学長は式辞の中で、「予期せぬ新型コロナウイルス感染症の蔓延が続き、皆さんもこの3年間、極めて制約の多い学生生活を送らざるを得ませんでした。勉学面では、オンラインなどで不慣れな授業が続き、結果として万全な勉学環境・学習の機会を十分に提供できなかったこと、改めてお詫び申し上げます。

「VUCAの時代」という正解のない多様で混迷の時代に、世に出ていく君たちへの「はなむけ」の言葉として、「古人の跡を求めず、古人の求めしところを求めよ」という、俳人・松尾芭蕉の言葉をお贈りします。

君たちのこれまで学んだものの多くは、先人の残してくれた足跡に負っています。しかし、最先端の学んだことを模倣「コピペ」するだけでは、すぐに立ち行かなくなります。その一方、君たちには、本学在学中に身に着けた、社会人基礎力や実技やボランティアなどの課外活動で培われた対人支援力など、一生の財産となる創造的基盤が備わっています。

これらの基盤的な能力と個々人の創意工夫により、先人たちが求め、いまだ達していない未踏の新たな世界に向かって、先人の跡のみに頼ることなく、臨機応変に各人の最善解を追い求めていくよう望みます。」と述べました。

これを受けて、学部卒業生を代表して人間社会学部人間形成学科 倉岡 萌々さん、大学院修了生を代表して看護学研究科看護学専攻 矢鳴 千愛さんが謝辞を述べました。4年ぶりの卒業生・修了生揃っての式典でたくさん笑顔にあふれていました。



↑祝辞 生嶋 亮介 福岡県副知事



↑祝辞 片岡 誠二 福岡県議会 文教委員会委員長



↑式辞 柴田 洋三郎 学長

## 宇根 萌々子



公共社会学科を専攻し、講義やゼミでの学習や人との出会いによって、私の生活や価値観が大きく変化しました。大学生活を通して、人は一人では生きていけないということを知りました。人とかかわることの喜びを感じ、人生が豊かになりました。当たり前になってくる毎日に感謝するようになりました。

尊敬している先生から多くのことを教えて頂き、将来先生のような大人になりたいと思いました。また、一生大切にしたいと思う友達に出会うことができました。

大学で学んだことや人との繋がりは、私にとって貴重な財産となりました。大学生活において出会った方々や家族には本当に感謝しています。4年間本当にありがとうございました。

## 大西 かき

私の大学生活は、決して楽しいことが多かったわけではないと感じています。新型コロナウイルスでサークルやイベントが相次いで中止になり、実習における制約が増え、厳しく、あきらめたくなることばかりでした。

そんな中、最後まで大学生活を乗り切ることができたのは、ある友人のおかげです。つらいときに互いに納得できないことに対して意見を語り合うことができたために私は卒業まで頑張ることができました。

大学生活で得られるものは人によって様々であると思いますが、私はこの友人に出会えたことが大学に進学した意味だったと思います。

## 亀原 倫加



福岡県立大学で過ごした日々を振り返ると、大変だったことも楽しかったことも含めて思い出が沢山の貴重な4年間だったなと思います。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により臨地実習が困難で、自分の看護技術・経験不足に不安を感じることもありましたが、学生たちが学びを深めることができるように対応して下さった先生方に深く感謝しております。また、大変な時にはお互いに相談し合ったり、一緒にいると笑顔でいっぱいになる友人に出会えたりしたこととても嬉しく、私にとってかけがえのない存在となりました。卒業後はまた新しい環境に行くことになり寂しい気持ちや不安もありますが、大学生活での思い出を大切にしながら過ごしていきたいと思っています。これまで支えて下さった皆さま、本当にありがとうございました。

## 倉岡 萌々



福岡県立大学で過ごした日々は、本当にあっという間でした。地元を離れ、一人暮らしを始めた4年前の不安や緊張は今でも覚えています。しかし、授業や実習、サークル、ボランティア活動、アルバイトなどを通して、多くの人と出会い、かけがえのない充実した時間を過ごすことができました。また、それらの経験を通じて、視野を広げ、自分自身を成長させることができたと思います。

この実りある4年間の学生生活を支えてくれた家族、コロナ禍で制限のある中、様々な形で私達を指導して下さった先生方、楽しい時間を共有し、不安に寄り添ってくれた友人には、感謝の気持ちでいっぱい입니다。これからは支えてもらった恩返しができるよう、努力していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

## 神谷 舞里



4年間厳しくも暖かく指導して下さった先生方、ありがとうございました。コロナ禍で実習にも制限がある中、会うことができた患者さんや指導者の方から看護することの難しさ、楽しさを学ぶことができました。

また、助産師になりたいという夢があったため大学院進学を視野に入れて、卒業研究を行っていききました。進学のための勉強、卒業研究を行っていく中で何度も壁にぶつかり悩みましたが、その度にゼミの先生からアドバイスをいただきました。

後輩の皆さん、これから大変なことも多いと思いますが、その分喜び、楽しさもたくさん感じることが出来ます。周りの人を大切にしながら夢に向かって頑張ってください。

## 井上 桃奈



大学4年間は自分と向き合う時間の連続でした。看護の道を志してきたものの、本当に自分に合っているのかと自問自答を繰り返す日々でした。4年次はなかなか進路が決まらず、思い悩むことも多くありました。そんな中でも常に私の考えを尊重してくれた家族、応援し支えて下さった先生方には心から感謝しています。また、決して楽ではない看護の学習を一緒に乗り越えた友人の存在は一生の財産です。

思うような学習ができない時期もありましたが、試行錯誤しながら勉強した日々を含めて全て思い出です。福岡県立大学で学べたことを誇りに思います。今後も大学での出会いや学びを胸に、精進していきます。本当にありがとうございました。

## 成績優秀者として表彰されたみなさんです



## 第 31 回 秋 興 祭

第31回秋興祭に多くのご来場を賜り、深く感謝申し上げます。

本年度の秋興祭では、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、3年ぶりに地域の方々や学外の方々にもご来場いただける形での開催となりました。学内サークルや外部の方のキッチンカーによる模擬店の出店や、吉本興業のお笑い芸人さんによるお笑いライブも行うことができ、少しずつではありますが、以前の賑わいが戻ってきたのではないかと思います。また、毎年恒例となっているシンボル大アートや提灯、ステージ企画も多数の来場者の方にご覧いただき大成功となりました。さらに、ステージ上でのパフォーマンスでも多くの方々にご協力いただきました。秋興祭を長年ご支援くださっている皆様のおかげで今年も無事に秋興祭を終えることができましたことを委員一同深く感謝しております。

皆様の記憶に残るような秋興祭を目指し念入りに準備を重ね、3年ぶりに秋興祭をこのような形で開催することができました。しかし、まだまだ課題の残るところもあります。今回の反省点を活かし、来年度以降もよりよい秋興祭を創り上げられるよう委員一同努力してまいりますので今後ともよろしくお祈りいたします。

第31回 秋興祭実行委員会  
実行委員長

原 壮一郎



本学は、福祉を学べる西日本で  
数少ない公立大学です。



渡辺 小夏さん  
吉木あかりさん  
社会福祉学科 1年

# 1年生 × 3年生

古市 司さん  
磯部 咲良さん  
社会福祉学科 3年

本学の社会福祉学科では、実習等を通じた実践的な学びを大事にしています。  
そこで今回は、本学での『福祉の学び』について1年生が3年生にインタビューしてみました。

## テーマ 本学での『福祉の学び』について

### Q 実習先の選び方は？

**古市さん：**授業の内容で興味があることを日頃からアンテナを張って情報収集したり、ボランティアに行ってみたりするのもいいと思います。実習先選びに関する授業もあるので、それを活用して探すのもいいと思います。行きたいと思う実習先があれば、施設の機能など調べておくと良いです。

**磯部さん：**どんなところで実習したいかを早めに決めておくといいと思います。実習中に学びたいことが明確になりますし、“こんなことも学びたかったのに”と後悔することもなくなると思います。例えば、私は高齢者と接するのが好きだから、高齢者施設のことを調べて実習先として希望したので、自分の関心のある施設で実習するのもいいと思いますよ。

### Q ゼミの選び方は？

**古市さん：**ゼミは3年生から入って、卒論の方向性を定め、4年生から本格的に卒論に向けて動いていきます。ゼミを選ぶ時に、それぞれの先生がゼミについて紹介する機会があります。それを聞いて、自分の関心のある研究分野の先生を選ぶのもいいし、活動が楽しそう、先生の人柄、国家試験対策をやってくれるなど、自分が何を重視するかで決めるといいと思います。

### Q 実習のために身につけて

おいたほうが良いことは？

**磯部さん：**コミュニケーション力を身につけておいた方が良いでしょう。実習では対話を通してクライアントのことを理解していくのでコミュニケーション力は大切です。その他に、クライアントが話しやすそうな話題を事前に考えておくとお互

い打ち解けやすく、相手と関係性を築くのに役立ちます。

### Q どんな勉強をすれば身につけられますか。

**磯部さん：**実習前の授業では、面接練習などをロールプレイで行うので、対話の技術が身につけられます。また、心理学関連の授業を履修しておく、役立つ知識やヒントが見つかりますよ。

### Q 実習から学んだことは？

**古市さん：**毎日の実習が終わって、その日に自分が感じたことを言葉にしたり、自分の感情を吟味したりすることで、クライアントのことをより深く、多面的に考えられるようになりました。それを継続していくことがクライアントへのより良い支援につながることを学びました。

**磯部さん：**これまで私は健康で元気な高齢者の方としか接したことがなかったのですが、実習先では介護を必要とする高齢者と多く接し、普段の生活やニーズをリアルに感じることができました。また、支援者としての視点や適切なかわり方も学ぶことができました。

### Q 実習先での印象に残ったエピソードはありますか？

**磯部さん：**高齢で寝たきりの方とコミュニケーションをとるときに、最初はとても苦労したのですが、毎日挨拶をしたり、言葉かけを続けたりすることで、ちょっとした表情の変化に気づくことができるようになり、その方を理解できるようになったことが印象に残っています。

**古市さん：**障害福祉サービス事業所で実習したのですが、利用者のトラブル対応では、職員が利用者を一方的に注意するのではなく、当事者の障害特性やト

ラブルの背景等を考えた上でかわっていることが印象的でした。

### Q 社会福祉士の他に、精神保健福祉士やスクールソーシャルワーカーの課程にも興味があります。複数の資格取得を目指す利点は何ですか。

**磯部さん・古市さん：**社会福祉士の課程で学びながら、さらに精神保健福祉士とスクールソーシャルワーカーの課程のどちらかを選択することができます。私たちは現在、精神保健福祉士の課程を選択していますが、社会福祉士の課程に加えて、精神保健福祉分野の勉強もするため大変さはありません。ですが、その分学ぶことも多く身につくスキルもたくさんあります。それは、スクールソーシャルワーカーの課程で勉強しているみんなも同じです。それから、資格を複数取得することは、たくさん勉強してきたという証明にもなりますし、資格を持っているとクライアントが相談する時の信用や安心につながると思います。

### Q 最後に社会福祉学科で学んで良かったこと、『福祉』の面白さについて教えてください。

**磯部さん：**授業では、クライアントを支援するための知識として制度等を勉強したり、面接技術を身につけたりしますが、そのことを通じて自分自身の物事の捉え方や価値観に気づくことが多いということに面白さを感じます。

**古市さん：**社会保険等の様々な制度を勉強するので、例えば、将来自分が困ったときに使えるサービスが何かもわかるのは福祉を勉強していて良かったことです。



## こどもコースの ホームカミングデーを開催

令和4年12月10日に、人間形成学科こどもコースのホームカミングデーを開催し、本学教員による講演や、卒業生と在学生の懇親の場を設けました。

講演においては、福田恭介特任教授より、「保育に生かすペアレントトレーニング」と題してお話いただき、保育・教育に役立つ知見を提供いただきました。また、卒業生3名（社保短保育科11期生・村島京子さん、人間形成学科20期生・阿部葉さん、人間形成学科23期生・江藤小百合さん）からは、在学時の思い出や現在のお仕事、後輩に伝えたいこと等についてお話いただきました。その後、在生と卒業生の懇談の場を設け、親睦を深める機会としました。

今回初開催のイベントでしたが、参加者からは貴重な懇親の機会になったと好評を頂きました。今後は、継続して卒業生・在生を対象とした学びや交流の場を提供していく予定です。ぜひご参加ください。



# Topics



## 添田『英峰塾』

公共社会学科  
3年 長谷川 心悟



「英峰塾」は、添田町立添田中学校のPTAからなる「おやじの会」などが主催し、同中学3年生を対象にした、学習支援を目的にしています。高校入試に備えた、学力向上を目指すために国語・数学・英語の学習をサポートしています。福岡県立大学の学生が講師となり、毎週末に活動しています。学習の際は、ホワイトボードを使って生徒の前で解説したり、一人一人を巡回して分からない問題で悩んでいる生徒にヒントを与えたりします。近年では年に1度お楽しみ会を開くなどして、生徒との親睦を深めるイベントも開催しています。

私自身も実際に、中学校時代は英峰塾に通っていました。そこでは、勉強はもちろん、休憩時間などに大学生の方と話すことが楽しかったのを今でも覚えています。受験というものが初めてだった僕にとって、受験勉強の方法、受験当日のコツなど、受験を乗り越えてきた大学生から様々なことを教えていただくことができ、楽しく受験期を終えることができました。また、そこで福岡県立大学の学生に憧れを抱き、福岡県立大学への進学を志しました。高校進学後は、大学進学という明確な目標があったため、勉強はもちろん、部活動や生徒会活動なども積極的に行うことができました。私は、英峰塾を通じて、自分のキャリアプランについて考えることができました。

英峰塾は高校進学だけでなく、その後のライフキャリアにつながる出会いや機会を提供する取り組みであり、中学生にとって貴重な経験になると思います。



## 令和4年度 ベストティーチャーを 決定しました



教授法・教育方法のさらなる向上を目指すため、授業参観ウィークにおける学外者のアンケート結果など総合的に勘案し、令和4年度福岡県立大学ベストティーチャーが決定しました。

人間社会学部 公共社会学科 石崎龍二教授が選出され、10月31日(月)に公開授業として「教育方法と情報技術」が行われました。

### 「ベストティーチャー表彰」に関するコメント

この度は、大変素晴らしい賞を頂き、誠にありがとうございました。教員として大変嬉しく思います。今回の受賞は、データサイエンス教育の推進への期待が込められたものと受け止めております。今後も精進を重ねて参りたいと思います。今後とも皆様のご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。



## 学長懇談会を 開催しました

令和5年2月2日(木)に学長懇談会を行いました。学長懇談会は、学生ファーストを大切に考える学長の意向から、毎年1回学長と学生自治会などの学生が意見交換を行う場です。

懇談会には学長、事務局職員、学生自治会などの学生が参加し、和やかな雰囲気の中で学生から募集した要望を伝えました。今回は「傘をレンタルできるようにしてほしい」、「他学年、他学科との交流の機会を設けてほしい」、「食堂のメニューを増やしてほしい」、「映画館や飲食店を、大学付近に誘致してほしい」など様々な要望があり、学生が活発に意見を述べていました。大学側としても日ごろ、学生が困っていることや改善してほしいことを知る良い機会となりました。中には要望にお応えすることが難しいものもありますが、いただいた意見を真摯に受け止め、改善に努力していきたいと思っています。



## 国際交流

2022年度第4回留学生支援事業  
(2月4日)

本学では、留学生と県立大生が交流しながら福岡県について学ぶために年間数回、福岡県の様々な場所へバスハイキングに行きます。今回は福岡市のチームラボフォレスト福岡、櫛田神社を訪問しました。学生同士交流しながら最先端のデジタルアートを体験し、櫛田神社のおたふく面や境内を見学しました。

今年度最後の留学生支援事業も笑顔あふれるものになりました。



## 教員研究紹介

# 地域の人々の医療・ケアに対する 意思決定支援について研究しています。

看護学部 看護学科  
保健師コース（公衆衛生看護学）

教授 尾形由起子



### 【公衆衛生看護学教育】

私は、本学に就任し20年となります。その間、公衆衛生看護教育を行ってきました。公衆衛生看護について、少し述べさせていただきます。公衆衛生看護の責任として、健康格差と社会的排除にさらされている人々の困難と対峙し続ける姿勢と、全ての人々の健康の実現に向けて不平等の解消と社会的包摂を実現した共生社会を創造することとされています。このような使命感をもち、本大学では、毎年10人余の学生が、保健師となりコミュニティで人々が健康づくりに貢献できるよう支援してくれています。

### 【研究・教育活動】

2018年には「人生会議」として、「心身の状態の変化等に応じて、本人の意思は変化しうるものであり、医療・ケアの方針や、どのような生き方を望むか等を、日頃から繰り返し話し合うこと」が奨励され、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の概念を踏まえ、「在宅ケア座談会」を行ってきました。地域住民にとって「理想的な死」として重要なことは、「周囲に迷惑をかけない事」「苦痛が少ない事」であり、迷惑をかけない穏やかな最期を望んでいるとされています。最期をどう生き抜きたいか問いかけに応える主体性と他者から支えられる実感がもてるプログラムが有効であるとされています。このような視点で、多職種の方々と共に研究を進めています。また、教育活動では、保健師課程の学生と共に、A町の在宅療養者の家族介護者インタビューさせて頂いています。このインタビューにより、介護者本人の思いや希望をうかがい、個別事例を基にした地域の健康課題を把握する技術を学びます。当事者の声からモデルを用い、複数事例を分析し、その内容を地域の関係者へ報告しています。地域の特徴と健康課題を検討することから保健師課程の学習を開始しています。

### 【田川市郡における社会貢献活動】

平成25年度より田川市郡の在宅医療関係の多職種の方々と共に、ケア・カフェたがわとして当事者を交えた学びの場を設けています。近年は、田川医師会の先生方にも多く参加いただけるようになりました。地元専門職のみならずとよりよい看護活動を行うためのリカレント教育は、私自身の活動の源となっています。



地域での介護教室（演習）



ゼミ生とのコロナ感染予防教室

### 先生の

#### おすすめの一冊

『友情』武者小路実篤  
1985、以文社

20歳時に読みました武者小路実篤の「友情」です。自分の本音や友情、葛藤する内面を描き出されており、白樺派の作風である「性善説的な内容」に引かれたのだと思います。文学作品でありながら対話の形式で熱烈な片思いと失恋、三角関係での友情のあり方が綴られており、まだ若かったので、友情とは何かを深く考えさせられたとても印象に残る作品でした。失恋にあって、出来事を整理し納得し回復し、未来に向かうかというメッセージだったように思います。学生のみなさんにこの文学作品に触れて頂くのは良いのではないかと思います。紹介いたしました。



## ジャズ研

人間社会学部 社会福祉学科 河津 果鈴

こんにちは、ジャズ研です！現在部員は約20名、主に体育館近くのスタジオ2にて活動しています。文化祭やその他ライブが予定されているときは演奏メンバーで集まって合同練習等をしますが、基本的に活動時間は自由です。自分のペースで活動できるため、バイトや他のサークル活動、学業との両立がしやすいのも魅力です。主な行事は、新入生歓迎ライブ、文化祭ライブなどで、それぞれ春と秋に開催されます。ここではジャズに限らず様々なジャンルの音楽を演奏します。ステージで演奏するのは少し緊張しますが、皆で作りに上げてきたものが「ライブ」という形で完成するのはとても感動します！

ジャズ研は楽器初心者の方も沢山いて、サークルを機に初めての楽器に挑戦するのも楽しみの一つです。スタジオにあるベースやドラム、キーボード、サクソフーンなどの楽器は自由に使用可能です。演奏はしなくても、皆とおしゃべりしたり、楽器運びやセッティングを担当してライブをサポートしたり、打ち上げに参加したり、音楽だけではなくサークル内の交流機会も沢山あって、色々な経験が出来ます。

音楽と、大学生活、自分のペースで沢山楽しみたい方、ぜひぜひ、入部お待ちしております！



サークルを機に初めての楽器に挑戦してみませんか

## 男子サッカー部

人間社会学部 公共社会学科 貞國 来歩

こんにちは。男子サッカー部です。今部員はプレイヤー19人、マネージャー11人で活動しています。週に2回グラウンドで楽しく、時には真剣に練習に取り組んでいます。練習では、基礎的なことからシュート練習や対人練習、ミニゲームなどの様々な練習を行い、試合に向けて準備をしています。また練習試合や大会が定期的であり、ベストを尽くせるように高みを目指して頑張っています。去年の大会では私達は予選で勝利を納め、決勝リーグに進むことができました。練習試合でも手を抜かず、勝利することを目標に励んでいます。初心者の方も楽しくサッカーをすることができ、学部や学科を問わず多くの方が在籍しています。かつては初心者だった先輩たちも今では経験者にひけをとらない頼れる部員に成長しました。交流も盛んで先輩方にテストや進路についていろいろな相談をすることができ、日々の大学生活に役立てることが出来ます。また、卒業された先輩方とも関わる機会が多く、色々なお話を聞くことができます。

今後は練習試合や大会参加で良い成績が残せるように、毎回の練習を大事にしていきたいと思えます。興味がありましたら、是非見学に来てください。



去年の大会では予選を通過し決勝リーグに進むことができました

自分について考え直す機会！

自分にとって就職活動とは？



就職活動前



現在



未来

私は興味のある分野を絞ることが出来ず、自己分析も思うように進まなかったため、「一般企業」や「福祉系」と分野を絞らずに就職活動をしていました。企業説明会に参加し、大学でのキャリア相談室を利用するうちに自己分析が進み、福祉系に興味があると気付きました。そこからは自分が就職先を選ぶうえで重視したいことを中心に、施設や病院の雰囲気・特徴を捉えるよう意識しながら情報収集をしました。

内定を頂いたときは嬉しいと同時に、勤務地が県外になり地元を離れるということに戸惑いが出てきました。しかし、先生方に相談したり自分が就職活動で重視していたことと内定先の特徴を再度照らし合わせることで、不安はあるものの段々とそこで働けることへの楽しみも出てきました。

現在は新生活への準備を進めつつ、友達と食事したり旅行へ行ったりしながら、残りの学生生活を楽しんでいます。

就職活動を進めるにあたり、先生方やキャリアサポートセンターの方々に助言して頂いたことで、考えがまとまり進みたい方向性が見えてきました。私もいつかは先生方のように困ったときに頼りになる存在になりたいと改めて思いました。そのためには困難もあると思いますが、早く業務や環境に慣れ、知識・経験ともに豊富な医療ソーシャルワーカーになれるよう力をつけていきたいです。

就職活動前



現在



未来

卒業後に自分がどこで働いているのか全く想像ができず漠然と不安を抱いていましたが、自己成長の為に上京するという夢を叶えるため、関東圏の自治体のみ受験しよう決めました。就活についての知識がなく保健師は看護師の就活とは全く違うため、いつからどのように対策すべきかわかりませんでした。友人との情報共有や先輩の情報、インターネットやキャリアサポートセンター等を活用し、授業や実習と並行しながら就活をしていました。

正直縁もゆかりもない関東に自分が合格できると思っていなかったのに、とても驚いたのと同時に、長かった就職活動が終わりこれまでにない達成感や喜びを感じました。この1年間は大学生活の中で最もきつかったですが、乗り越えることができたことで自信が付いたと感じています。今後慣れない土地で保健師として力を発揮できるか不安は大きいですが、これまで学んだことを振り返りつつ残りの学生生活を楽しみたいと思います。

実習先で実際に働く保健師を見て、一人一人に寄り添い活躍する先輩の姿に憧れたので、そのような保健師に近づけるよう勉強を継続し日々努力していきたいと思えます。また、長年の夢であった東京での生活も楽しみ、公私ともに充実した生活を送りたいと考えています。

自分と向き合う時間

自分にとって就職活動とは？



## 退職教員のご紹介

[R5.3.31 付]



氏名 鬼塚 香  
学部 人間社会学部  
社会福祉学科 准教授  
専門分野  
精神保健福祉



氏名 金 恩愛  
学部 人間社会学部  
総合人間社会コース  
准教授  
専門分野  
韓国語教育、日韓対照研究



氏名 石村 美由紀  
学部 看護学部看護学科  
大学院看護学研究科  
准教授  
専門分野  
女性看護学、助産学



氏名 榎 直美  
学部 看護学部看護学科  
准教授  
専門分野  
老年看護学



氏名 古庄 夏香  
学部 看護学部看護学科  
准教授  
専門分野  
成人看護学



氏名 政時 和美  
学部 看護学部看護学科  
講師  
専門分野  
病院前救護、災害看護



氏名 中藤 広美  
学部 人間社会学部  
人間形成学科  
助教  
専門分野  
幼児教育、保育



氏名 道園 亜希  
学部 看護学部看護学科  
助教  
専門分野  
女性看護学、助産学

※希望者のみ掲載しております。

## 福岡県立大学基金 ご寄附のお願い

福岡県立大学では、学生生活、教育研究等の充実に  
を図り、福祉社会に貢献できる人材を育成すること  
を目的に基金を設置しています。寄附金は、学生支援、  
国際交流、教育研究活動等の実施に活用されますが、  
用途を指定することもできます。

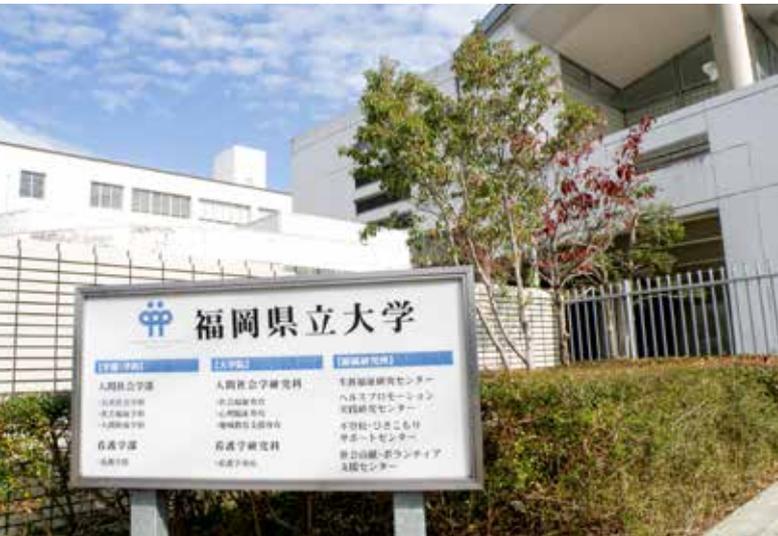
皆様方からの格別のご協力とご支援を賜りたくよ  
ろしくお願い申し上げます。

### ■ご寄附のお申込み方法

「福岡県立大学」のホームページに詳細をご案内  
しておりますのでご確認ください。下記の連絡先  
にお問い合わせ願います。

### ■連絡先

経営管理部総務財務班 TEL 0947-42-2118



Kendai Magazine

福岡県立大学 報誌

Fukuoka Prefectural University

No. 34 | 2023  
SPRING

- 発行 福岡県立大学
- 所在地 福岡県田川市伊田 4395
- 電話 0947-42-2118
- 編集 学務部 教務入試班

<https://www.fukuoka-pu.ac.jp/>



ホームページ



Instagram